

令和5年度 医師の負担軽減及び処遇の改善計画

勤務医師の負担軽減に係る責任者: 病院長 於保 和彦

安全衛生委員会: 委員15名 院長、産業医、安全衛生管理者、事務部長、看護部、リハビリ、事務部

所属	項目	令和5年度 目標
医師	予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	・ 予定手術前日に当直を割り振らない
	連続当直を行わない勤務体制の実施	・ 2夜連続での当直を割り振らない
	医師事務作業補助者の配置・育成	・ 医師事務作業補助者を活用しており、 医師の診断書作成などを代行することで、医師の負担軽減
薬剤科	外来化学療法の強化のため外来化学療法加算を取得するなど化学療法を推進するなかで化学療法に対する患者説明などが付帯業務が負担になっている	・ 化学療法レジメン管理 レジメン作成や管理を補助する ・ 外来化学療法における患者説明補助 薬剤の副作用や化学療法のリスクを医師に代わり説明する
	入院時に患者が持参する薬の管理が医師の大きな負担になっている	・ 持参薬管理 持参薬の鑑別を実施し、処方薬と重複しないようにする
	入院中の服薬指導	・ 入院中の服薬指導を実施する
	各種検査をすると医師の負担が大きい	・ 血液検査、細菌検査を実施 ・ 超音波検査等を実施 ・ 輸血を準備 ・ 病理組織を作成 ・ RFAの超音波検査の実施 ・ 甲状腺穿刺検査の超音波検査実施 ・ 検査手順の説明 (すべて医師の指示による)
放射線科	各放射線機器の操作、撮影は医師の負担が大きい	・ 一般撮影、CT、MRI、マンモグラフィー、骨塩検査を実施 ・ 透視検査、血管造影検査を実施 ・ 画像を作成 ・ 救急患者、術中患者、入院患者のポータブルX線撮影を実施 ・ 心臓カテーテル検査機器を使用 ・ 検査手順の説明 (すべて医師の指示による)
	ポンプ等、人工呼吸器の設定を医師が行う場合もある	・ シリンジポンプ、輸液ポンプの定期的なメンテナンス ・ 人工呼吸器の設定、確認
	心臓カテーテル治療は医師の負担が大きい	・ 心臓カテーテル時の補助業務
	静脈注射の実施に関する指針に基づき静脈注射を実施	・ 静脈注射の実施に関する指針に基づき静脈注射を実施
	入院中の患者の対応	・ 医師の治療方針や患者の状態を踏まえて 看護師が積極的に行っている
看護師	患者及び、患者家族への説明	・ 医師の治療方針や患者の病状説明の際に 補足説明や患者家族の要望等を収集し医療行為が スムーズに行えるよう努める
	退院調整	・ 入退院は医師の判断で担当看護師と調整し 退院時に独居老人や老老介護が増えており 療養病床や施設への調整を行っている
MSW	退院調整	・ 入退院は医師の判断で担当看護師と調整し 退院時に独居老人や老老介護が増えており 療養病床や施設への調整を行っている
事務職員	各手続き事務代行	・ 新規患者のカルテの作成を行い医師の業務負担軽減 ・ 入院説明を行い医師の業務負担軽減 ・ 患者、家族へ退院支援を医師との情報共有を正確に実施する
	当直時における応援体制	・ 当直帯時における救急車搬入決定時に診療放射線技師、 臨床検査技師に連絡し、救急外来に集め、 救急対応の準備を実施する